

大正十年 每月曜日發行
 第四五二號
 第三種郵便物認可
 郵政省 郵務局長 許可
 大正十年 二月 廿九日

上海

Vol. VII. No. 452. THE SHANGHAI, JAPANESE WEEKLY

發行所 春申社
 上海海濱路拾四號
 電話三七三三
 振替口座號碼四七三三

目次
 論 商教聯席會
 奉直と内閣と廣東
 銀行公會の活動
 山東問題の今後
 上海報界の過去及現在(四)
 支那法律と禮(二)
 支那報界の過去及現在(四)
 論 商教聯席會(一)
 漢字新聞論議
 金庫私入
 十一

商教聯席會

全國商教聯席大會は十二日より當上海總商會議事廳に於て開催された。同會の成立は大平洋會議の發起によりて促がされたものにして、所謂軍閥財閥政客の外に立てる實業教育兩界代表の集團體に係り、謂はば時局に對する第三者の位置に在るを以て、其時局に對する響影又は結果の如何は豫期すべからざれども、同會の言議行動が、少くとも現在登場人物の破産期を劃するに就き意義あることは當らずと雖も、遠からざるべし。

夫れ支那十年來の政治現象は、軍閥政客の天下にして、其禍亂の止まざるは、全く國家の中心を失したるが爲めなり、即ち帝制時代の中心は道德の表現物たる皇帝に在りしも、共和國民成立以來、其中心が軍閥政客に移ると共に道德頹敗し、益彼等の跋扈を甚しにせしむるが爲めなり尤も約法上主權民に在り云ふ一般人民は政治に冷淡にして絶へて之に干渉せず、軍閥政客の横暴に一も任し、其互に屠り合ひ、其互に盡くするの時あるを待つる忍耐力量を以て國家の中心は軍閥政客の如き不良なるもの、手に歸し主權民に在りは其名實に副はずして今日に及びたり然るに十年前變則に民國を成立せしめし袁世凱は、自ら其變則の弊を

知り、再び國を帝制に改めんとしたれども、不學無術、恰かも善男善女を參請せずし廟内の住持が我こそ佛なりと稱するに至り、遂に參詣人が住持を廟より追放する如く、清朝累代の巨たる袁は自己皇帝を稱したる爲め、遂に民心を反し、彼自ら斃れ、段祺瑞其後を繼ぎしも彼れ袁の才に及ばず、天下を統御する力なく、馮段の爭執、徐段の暗闘となり遂に安直戰爭を惹起し、段派倒れて又も奉天派出、今日の所謂奉直兩派爭執を招きたり、之より先き安直兩派爭執當時より、所謂民氣安直軍閥の門に降参し一は直派軍閥の門下に叩頭するに至れり、此時に當りて從來民黨政客の勢力範圍否な數窟たりし省議會の、中央政府の缺陷に乘じ、常に地方の紳董を唆りて事を釀す能力ありしも、政客政客の價値下落と共に、省議會も亦勢力を失するに至れり、即ち中央政府の牽制するに及ばず、必す各省總商會を總制し、省議會を取、省議會と總商會の消長は難か中央と野黨の勢力消長なりと見られし民黨政客の數窟たりし省議會も、終に天下に呼號する力を失ふに至れり、之を約言せば軍閥政客の中心が袁死後分散したるの之と共に失ふに至れり云はざるべからず、然らば省議會の勢力失墜と共に總商會が抬頭するに至れり云ふ乎決して然らず、何となれば袁死後各省派に變幻劇なるに或は安流或は奉派に變幻劇なるに或は去就を爲し、其之を按配すべからざる中央政府、否な奉直兩派に兩手を掛けて活きつ、ある中央政府を上に置く今日、總商會も亦其適從する所を知らずして均し(勢力を

失したり、此間に乘じ抬頭し來りし者は各省教育會來るに、同會の抬頭は山東問題以來の事にして、寧ろ直派及政黨政客の倒策策に資せられ勢力を得たるものにして、省議會と總商會とが、政治上多少趣きを異にせることは勿論なり

然るに省議會の勢力失墜せる時に當りて、總商會と教育會は聯席して大會を開催するに至る、而かも此聯席會は太平洋會議の如き、支那の存亡に關する對外重大事を研究すべき日に軍閥政客の對外重要事に對して、待むべからざる所以を充分に語れるものとして、此第三者こそ重大なる責任を帯ぶものこそせざるべからず、青任を帯ぶものはフビラデルフ非ヤ會往者米國憲法はフビラデルフ非ヤ會議によりて生れたり云ふも、其前一年のアナポリ商法會議が基本となれりと稱せらるるが、今日上海商教聯席會は果して此アナポリの商法會議に比擬すべき効力を生ずべき能力あるか、這是固より期待すべからざるが、現在登場人物たる軍閥政客の散在せる中心が、此會によりて更に一層散せしむるが爲め彼等の破産期を徹底せしむる基本となるにあらざるか問題なり、之と同時に所謂一變して道に違ふ、此會議の結果が支那の傳統的文化に縁多き兩會聯席關係上、社會の根本力は又唯だ支那固有の王道發揮に在り云ふに一變せざるか又問題なり、蓋し現在登場人物の破産は君主政體と共和政體の當否を意味するものにして情意の力が理智の力よりも強き最も人間のたる支那國民性は、軍閥政客に分散せる中心を好むものにあらずして、國民の注意を一人に集中するの君主政體を好むものになりなり即ち國民の趣味深き情意に訴ふべき王道を體現せる皇帝を欲するが當然なる所のみ、吾人が商教聯席會に求むる所のものは即ち此の如し

(白川生)

錄
 秋風憐たる十一日夜飛電當新聞社社長鬼頭玉汝氏の訃を報ず、驚愕悲愴の情交乘りて措く所を失し、悲愴を叫ばばけりなき星と星とのうなづけるあり、何物を暗示するや、嗚呼雄魂は英志を繼して遂に何れの處に行かざる、あ、流石何處にゆけり、誰か吊す

運送せんば何物も成らず、而も天運巡環而不停

リヨリスの法典を作りて、行政に參與す、時に歳考ひたるを知りて、政治家は來を完するに如かすとなし、デルヒアの神政に至りて、こもりて出でず、遂に絶食して死す

人々から御免々々と云はれても死ぬることも生ることも出來る政治家にこの話は、服の清潔でなくてはならぬ

然し、支那の政客先生には、こんな上等な話ば、囁んで含めても判らぬ

哲學者スピノザ可を歩めり、浪士體のこれを異端者なりと惡めりての拳銃をあげて狙撃す、當らず、スピノザ依然として銃火の行方望み一顧もせずして平然として歩みきれり、狙撃するもの恐れて敢て再び打たず

この話を無理に國際間の關係に彷彿するを知るであらう

然し、スピノザたる日本は一顧もせず然然として歩み去つたか

凶漢たる支那は敢て再び打つことが出來なかつたか

思ふて、こゝに至れば、日本の徳も、また

キリスト異端者として誅らる。捕手キリストを捉む。キリスト曰く、汝等何人來む。と、捕手曰く、ザレのキリストなりと

キリスト曰く、我はそれなりと

捕手驚き地に倒る。

昔者某死罪に宣せらる。某微笑してこれをき、法官色を失す。叱て曰く、汝我に死刑を宣し、汝先色を失ふ何の故や

● 積立金 五千七百萬圓

● 資本金 壹億圓拂込済

● 本店 横濱 東京 神戶 大阪 名古屋 長崎 下關 津 青島 漢口 上海 蘇州 杭州 蕪湖 鎮江 揚州 南通 煙台 濟南 濰縣 鄭州 開封 長春 哈爾濱 滿洲里 太原 西安 蘭州 西寧 成都 重慶 昆明 貴陽 蘭州 西寧 成都 重慶 昆明 貴陽 蘭州 西寧 成都 重慶 昆明 貴陽

支店 東京 神戶 大阪 名古屋 長崎 下關 津 青島 漢口 上海 蘇州 杭州 蕪湖 鎮江 揚州 南通 煙台 濟南 濰縣 鄭州 開封 長春 哈爾濱 滿洲里 太原 西安 蘭州 西寧 成都 重慶 昆明 貴陽

橫濱正金銀行

支店 東京 神戶 大阪 名古屋 長崎 下關 津 青島 漢口 上海 蘇州 杭州 蕪湖 鎮江 揚州 南通 煙台 濟南 濰縣 鄭州 開封 長春 哈爾濱 滿洲里 太原 西安 蘭州 西寧 成都 重慶 昆明 貴陽

支店 東京 神戶 大阪 名古屋 長崎 下關 津 青島 漢口 上海 蘇州 杭州 蕪湖 鎮江 揚州 南通 煙台 濟南 濰縣 鄭州 開封 長春 哈爾濱 滿洲里 太原 西安 蘭州 西寧 成都 重慶 昆明 貴陽

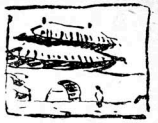
支店 東京 神戶 大阪 名古屋 長崎 下關 津 青島 漢口 上海 蘇州 杭州 蕪湖 鎮江 揚州 南通 煙台 濟南 濰縣 鄭州 開封 長春 哈爾濱 滿洲里 太原 西安 蘭州 西寧 成都 重慶 昆明 貴陽

臺灣銀行

支店 東京 神戶 大阪 名古屋 長崎 下關 津 青島 漢口 上海 蘇州 杭州 蕪湖 鎮江 揚州 南通 煙台 濟南 濰縣 鄭州 開封 長春 哈爾濱 滿洲里 太原 西安 蘭州 西寧 成都 重慶 昆明 貴陽

支店 東京 神戶 大阪 名古屋 長崎 下關 津 青島 漢口 上海 蘇州 杭州 蕪湖 鎮江 揚州 南通 煙台 濟南 濰縣 鄭州 開封 長春 哈爾濱 滿洲里 太原 西安 蘭州 西寧 成都 重慶 昆明 貴陽

支店 東京 神戶 大阪 名古屋 長崎 下關 津 青島 漢口 上海 蘇州 杭州 蕪湖 鎮江 揚州 南通 煙台 濟南 濰縣 鄭州 開封 長春 哈爾濱 滿洲里 太原 西安 蘭州 西寧 成都 重慶 昆明 貴陽



週聞要報

奉直と内閣と廣東

▲時局の推移如何▼

奉直兩軍間の均衡によりて新内閣は維持され来りしことも、馮新が辭職するも、奉直兩派が分裂せざる間は新内閣は倒壊せしむべからざることも、共に吾人の己に看破せし所にして、内閣問題は一に係りて奉直兩派の態度如何によりて定まるべきものなるだけ、苟くも兩派軍閥と縁なき否な縁故を作るべからざるものに取りては痛痒を感ず、支那の改善進歩には何等益なきなり、然るに内閣問題に就ては尙ほ明白なる報道を見る能はず、一時は李士偉財政總長說あり、曹錕財政總長說あり、將た王道斌財政總長說あり、最後は奉天派の高凌霨昇進し、籍りて新内閣の出動を見るに至るべしと傳へられたれども、本月十三日附北京電報によれば曹錕の入京を待つ、互に諒解を得るにあらざれば、到底解決し能はずるべしと傳へたり、又奉天會議あり曹錕の代表も出發し、王占元談話も、其決定如何になりしか定まらず此時に當りて十二日附天津電報は「最近又々張作霖の來津說傳へるが、」に就き直隸派某氏曰く湖北出兵以來軍費立替にて直隸派の財政は非常に困難に陥り政府に迫るも不要領なれば已む無く中央政府財政總長の席を其の手に收めて融通の策を講せんとするものなりと云ふ

馮新の辭職を得んとする意あるは確實なるも未だ馮氏の間に何等の打合もなき模様なり」と報せり、これら三によりて見れば、直派は兩湖及四川に對する必要上軍費に困却し財政問題が主要問題となり居れりかを付度すべく高凌霨の財政總長も亦直派に取つて大に不利なる譯なり、又十日發の北京通信は新總理と天津會議に關し、左の如く報道し來り

馮新の辭職を得んとする意あるは確實なるも未だ馮氏の間に何等の打合もなき模様なり」と報せり、これら三によりて見れば、直派は兩湖及四川に對する必要上軍費に困却し財政問題が主要問題となり居れりかを付度すべく高凌霨の財政總長も亦直派に取つて大に不利なる譯なり、又十日發の北京通信は新總理と天津會議に關し、左の如く報道し來り

今日尙未だ決せず去日來一兩日內必ず新總理登臨政事を視るべしと傳へられつゝあるも遂に事實に現れず一消息に依るに閣員總統方面途に一致新總理の辭意取消す滯復も總統方面に決するのみならず滯復も總統方面に決定を容納し諸政問題の解決を行ふことに決定せりと、其の方法は如左

一、財政は滯復より擔任し請理に任ずべく先づ湖北の軍費より支出し次で各省の欠餉に及ぶ

二、各省よりの索款電報に對しては陸軍部財政部より分担して處理す三、山東案は民意に従ひ閣員より責任を負ふて進行せしむ此外孫文の北伐及び統内閣に對しては詳細の討論を経て問題より處理す大體の方路に付き新總理の諒解を得たるを次で本日新總理は請暇を取消し明日より登臨すべしと

對し感激馳驅の語を以て答へつゝ、あれは新總理は辭意を取消せしむ必ず一兩日中に登臨すべしとの説去日來頻りに係へらるるに等日迄迄事實行する能はず但し今日新總理は人の實見無き爲め辭意を續へし登臨するの能はざる境遇にあらざるなり新總理は事の充分なる一致諒解を得るにあらざれば到底新任を見るも實行不可なりして苦境に陥るも恐れ然るなり故に新總理は更に一度直率の棟梁となり天津會議を開き擁護の初意に背かさざることの誓言を得て然る後就任せんとの意向なるが如し儘かに新總理は張作霖に書を致して天津に會見し曹錕と同時席事を談せんと云ふ意嚮を通じたりと報せらる

然るに新總理は此際自己の位置擁護に付き天津會議を開きて其の誓言を得たるを登臨事を視るの意思なるにあらざる歟、張作霖曹錕の天津に至る後にあらざる其の去留を決せざるべしと傳へらる

一ヶ月に重畳して決せられざる新内閣の去留は今俄かに断じ難し石二消息を値じて讀者の參供に供せん

すべからず、之が爲め奉天軍の南下を要求し併せて張勳を江西督軍に任命すべしと迫りつゝありとの報道は、武漢に於ける直派軍の爲め多量の牽制の宣傳策となり此に孫張のアンタクトの生れ易けはなり、張の本月十三日の北京電報として張勳に辭職を許し、張勳を江西督軍とし、着任後更に巡閱使を任命せん答なりと傳へし其何よりの直派牽制の宣傳策なり、張作霖此際果して手を長江一帯に伸ばしつたけの決定あるか、否な三つたけの形勢に在るかは疑問なれども、張勳起用が彼の素願にして、吳佩孚を一日も速かに失敗せしめ度きは山々なり、之が爲めに差當りて孫文を握りすべく、離合集散測るべからざる登場人物の役者を以て充滿さるゝ今日、必ずしも架空にあらず、吾人が奉天軍南下説及張勳起用を直派を牽制すべき宣傳策にあらざるかと見る又故なき宣傳策なり、況んや廣東北伐軍は最初盧聲どのみ見溢られたるも、漸く實視さるべき楊傑あり、廣東市政廳借款千萬元成立し已に二百萬元の金を備ふるを得、十五日出巡すべしと傳へらるゝに於ては、程潛の如き一派あり、常に趙恒惕の際に乗せんとし、最も弱き廣西陳光遠は固より援を吳佩孚を恃むも、吳の左視右顧せざるべからざる場合來らば、江西は或は許崇智の爲め動かされずは必ず各總からず、説んや四川は稀錚は必各總肅清され、吳佩孚は通電を發して戦勝を誇りつゝ、あれども、何時又東下するやも知るべからざるに於ては、吳佩孚は北に奉天軍南下して江西を援くこと稱して脅威するあり、謂はく四圍敵を受くるの姿となり甚だしく危險視せらるる譯なり、固より廣東北伐軍の果して實行さるか、奉天軍の南下が果して實行さるか、或は牽制的宣傳にあらざるか、種々迷はざるを得ざれども一般に集矢の的となれる吳佩孚は、風雲變幻の支那形勢に於て如何なる不利に陥るやも又知し此轉國策によりて活路を求むる政客あり軍閥挑撥に最も妙を得たるものなれば、留意は廣東北伐の出發と張作霖の奉天軍南下如何に在りて、南北對峙の形勢を再出現するには至らざるか

本月二日の紐育タイムズは其社説に於て日本は三百年遅れて列強の列に加したれば地球面の分割は先づ國の爲め既に終了たりと言ひ、今日となりては日本は植民を行ふ場所足せしむべしと述べ西伯利、蒙古、滿洲は日本人を入るゝ餘地あれば相當の代償に依りて日本に賣渡すも可ならずやと言ひ、日本は年々海軍費六億を費し居れば之を以て土地を購し得べし、亞弗利加及び中部亞細亞にも又日本の要求に應じ得べき土地あり日本は宜しく正道に則り米國のアラスカ、比律賓、パナマ地帯等以外に領土の擴張を爲し得べしと論結りこの東方に接し、之と同時に日本に於ても人口過剰の問題とするに至りしが、人口過剰は勢ひ各地の土地に向つて發展する云ふも此の外は寧ろ日本人の權利なりと云ふも出でたりよりして、直ちに支那に反響あり、日本を牽制する爲めか、十二日北京發の電報即ち官邊機關紙は報じて曰く、某外人顧問は建議せり、太平洋會議の題綱日に對し支那政府は意見

すべからず、之が爲め奉天軍の南下を要求し併せて張勳を江西督軍に任命すべしと迫りつゝありとの報道は、武漢に於ける直派軍の爲め多量の牽制の宣傳策となり此に孫張のアンタクトの生れ易けはなり、張の本月十三日の北京電報として張勳に辭職を許し、張勳を江西督軍とし、着任後更に巡閱使を任命せん答なりと傳へし其何よりの直派牽制の宣傳策なり、張作霖此際果して手を長江一帯に伸ばしつたけの決定あるか、否な三つたけの形勢に在るかは疑問なれども、張勳起用が彼の素願にして、吳佩孚を一日も速かに失敗せしめ度きは山々なり、之が爲めに差當りて孫文を握りすべく、離合集散測るべからざる登場人物の役者を以て充滿さるゝ今日、必ずしも架空にあらず、吾人が奉天軍南下説及張勳起用を直派を牽制すべき宣傳策にあらざるかと見る又故なき宣傳策なり、況んや廣東北伐軍は最初盧聲どのみ見溢られたるも、漸く實視さるべき楊傑あり、廣東市政廳借款千萬元成立し已に二百萬元の金を備ふるを得、十五日出巡すべしと傳へらるゝに於ては、程潛の如き一派あり、常に趙恒惕の際に乗せんとし、最も弱き廣西陳光遠は固より援を吳佩孚を恃むも、吳の左視右顧せざるべからざる場合來らば、江西は或は許崇智の爲め動かされずは必ず各總からず、説んや四川は稀錚は必各總肅清され、吳佩孚は通電を發して戦勝を誇りつゝ、あれども、何時又東下するやも知るべからざるに於ては、吳佩孚は北に奉天軍南下して江西を援くこと稱して脅威するあり、謂はく四圍敵を受くるの姿となり甚だしく危險視せらるる譯なり、固より廣東北伐軍の果して實行さるか、奉天軍の南下が果して實行さるか、或は牽制的宣傳にあらざるか、種々迷はざるを得ざれども一般に集矢の的となれる吳佩孚は、風雲變幻の支那形勢に於て如何なる不利に陥るやも又知し此轉國策によりて活路を求むる政客あり軍閥挑撥に最も妙を得たるものなれば、留意は廣東北伐の出發と張作霖の奉天軍南下如何に在りて、南北對峙の形勢を再出現するには至らざるか

日本人口過剰と支那

日本人口過剰と支那

日本人口過剰と支那

日清汽船株式會社 上海出帆 三菱物分析所 上海支店



支那法律と禮 (六)

敬庵

唐の德宗の時(元年九月)富平縣との文を深く律に没する者は、其の人衆を殺し、縣に自首して罪を請うる者なり、而して經術の士は經をふ、復仇して人を殺すものに與ふること固より彝典にあり、以て其の冤を申べて罪を請へり、死を視ることを歸するが如く、自から公門にいたる天性より發す、志は殉節にあり、本を求生するの心なし、寧ろ不經になり、此れ百姓の相讎するものなり、公羊傳に曰く、父不受誅、子復讎可也、

職方員外郎韓愈議を獻じて曰く、伏して奉る、今月五日の復仇に與ふは、禮經に據れば則ち義天と申しからず、法令に徵すれば則ち人を殺すものは死とすべし、禮法二事は皆王教の端なり、此の異なるは必ず辯論に資すべし、宜しく令して、都下にて集議に省みて、奏する者を聞かして、伏して思ふに、子を以て父の仇を復するは春秋に見れ、禮記に見れ、又周官に見れ、又諸子史に見るあげて數ふ可からず、未だ非なりとして、これを罪するものはあらざるなり、最も宜しく律に詳しある可し、而も律には其の條なし、文を關する所なる公羊傳の稱する所の如し、今に行ふ可きものは、或は官吏の誅主官の稱する所、子仇を復して先づ則ち人法を利用して専ら殺すもこれを禁止すること能はざらん、夫れ律なるものは聖人に本づく、然れども執りてこれを行ふものは有司なるなり、其の義を經に丁寧にして、

其の事由を具して、尙書に下しを判す、遂に台を下り雜議を省むの第五なり、明の太祖嘗て侍郎と大臣を待つ禮を論す太史劉基曰く、昔者公卿罪宗を明にすべし、否らざれば即ち崇宗を明にすべし、自ら殺せしむ、未だ嘗てこれを辱めざりし法を案するに、曾て離せざる異なり、其の証四あり、況や不孝の刑は教の大なるもの、宜しく刑部大理等に依りて斷すべし、右僕射李昉等四十三人議して曰く、法寺定斷すべし、又不當なり、若し五母皆同じしを以てせざる、即ち阿蒲能より崇緒の親母は、崇緒時に田家を以て馮の爲めに強占せたる、親母衣食を給せず、訴を論する所なり、若し法に従ひて寺死を斷せば則ち何の罪に以て、民後妻を以て、携ふる所の前夫の子を増と爲すものは、並び父母姉妹律に同じく等を減じて科斷すと云へり

此の意は復讐をもつて、必ず先に官に言へば、則ち無罪なるなり、今陛下意を典章に垂れ、罪を定制に立てたまひ、有志の守を惜み、孝子の心を憐れみて、自から専らざるを示して、訪ひて群下と議し給へ、臣愚考するに、復仇の名は同じき雖も而も其の事は各異り、或は百姓に相行ふ可きものは、或は官吏の誅主官の稱する所、子仇を復して先づ則ち人法を利用して専ら殺すもこれを禁止すること能はざらん、夫れ律なるものは聖人に本づく、然れども執りてこれを行ふものは有司なるなり、其の義を經に丁寧にして、

唐の長慶二年四月刑部員外郎孫奏す、京兆府雲陽縣の人張蔭なるもの、羽林官騎廉錢米を欠く、憲これを徵す、蔭醉ひ、憲を拉す、氣息將死に絶へんとす、憲の將其父を救はんとす、蔭角郷人と力するを以て敢て搦解せず、遂に木桶を持て蔭の首を撃つ、血を見るの後三日死を致すに毆せらるる、子従ひて救ひしを殺す、死に至るものは常律による、即ち買得父の難を救ふを得たり、是れ性孝にして暴にあらざる張蔭を撃つは是れ切にして凶なるにあらず、聖訓の歳を以て、父子の親を正し、聖訓の加ふる所には非ず、童子安くしてこれに及ぶ、王制五刑の理を稱す、必ず父子の親を以て之を權す、慎みて深淺の量の測りて以てこれを區別す、春秋の義、心にたすねて罪を定む、周官の稱する所の如し、今買得は生れて皇風を仰ぎ、幼にして至孝に符す、若し沉命の科に従はば、恐らくは原情の義を失せん、宜しく法司に付して死罪二等を減すべし、

宋の仁宗の時宣州の民、葉元なるもの某の兄と同居す、兄亂してその妻これを殺す、又兄の子を殺す、其の父と嫂とに強ひて認むるを契約せしむ、隣里よりその事發はれ、州爲めに上訴す、帝曰く、罪人已に死す、姦亂の事は特に葉元の出で以て罪を定むるに足らず、且つ下民無知と雖固より宜しく哀矜すべし、然るに妻子の愛を以て、既に其父を罔ひ、又その兄を殺し、其の姪を殺す、理に逆ひ、倫を敗る、宜しく兄諸義而協、則雖先王未之有、可以義起也、

此の禮を以て法律問題を救濟するの第三なり、宋の端拱の初廣定軍民安崇緒なるもの禁兵に隸す、訴へて曰く、繼母父知逸と離れ、全く資産を奪ひて、己の子に與ふと、大理當に崇緒母を誣へたるは罪死に當るべしとす太宗之を疑ふ、大理張昞固執りて前斷すべし、

此の禮を以て法律問題を救濟するの第七なり、

明の太祖嘗て侍郎と大臣を待つ禮を論す太史劉基曰く、昔者公卿罪宗を明にすべし、自ら殺せしむ、未だ嘗てこれを辱めざりし法を案するに、曾て離せざる異なり、其の証四あり、況や不孝の刑は教の大なるもの、宜しく刑部大理等に依りて斷すべし、右僕射李昉等四十三人議して曰く、法寺定斷すべし、又不當なり、若し五母皆同じしを以てせざる、即ち阿蒲能より崇緒の親母は、崇緒時に田家を以て馮の爲めに強占せたる、親母衣食を給せず、訴を論する所なり、若し法に従ひて寺死を斷せば則ち何の罪に以て、民後妻を以て、携ふる所の前夫の子を増と爲すものは、並び父母姉妹律に同じく等を減じて科斷すと云へり

此の禮を以て法律問題を救濟するの第六なり、明の神宗十二年、知縣陳敏政言を以て、民後妻を以て、携ふる所の前夫の子を増と爲すものは、並び父母姉妹律に同じく等を減じて科斷すと云へり

此の禮を以て法律問題を救濟するの第七なり、

此の禮を以て法律問題を救濟するの第八なり、

此の禮を以て法律問題を救濟するの第九なり、

此の禮を以て法律問題を救濟するの第十なり、

此の禮を以て法律問題を救濟するの第十一なり、

此の禮を以て法律問題を救濟するの第十二なり、

印刷製本及紙器製造 Shanghai Press, Ltd. 社 會 式 株 刷 印 海 上

TH 堀井騰寫堂支店 上海河南路七七七八 電話(中央)參參貳〇

商教聯席會開かる

豫て計劃されし全國商會聯合會と全國教育聯合會本月十二日午後二時五分より上海總商會議事室に於て第五回聯席會議を開催したるに於て

來賓者は直隸、吉林、山東、安徽、河南、湖北、四川、湖南、江西、江蘇、浙江、福建、廣東、山西の十四省又天津、北京、北平の三特別代表七十七人にして

通過し又太平洋會議に關する提案(商會聯合會提出)と聯席會議宣言の(一)教育聯合會提出の二案を合併して審査委員に附託し又内政聯盟に關する案(二)教育聯合會提出の二案を合併して審査委員に附託すること可決した

▲上海諸公易交易所の認可 農商部は辦理せるを以て茲に甲乙兩項を原擬の宣言草案に加へ稍々修正をなした

▲公易所彙報 ▲兩煤業交易所合併難 上海に上海華商煤業交易所と上海煤業交易所と同様のものを二箇登記されたため上海總商會は合併して一とするを可なりと認め

▲公易所彙報 ▲兩煤業交易所合併難 上海に上海華商煤業交易所と上海煤業交易所と同様のものを二箇登記されたため上海總商會は合併して一とするを可なりと認め

▲公易所彙報 ▲兩煤業交易所合併難 上海に上海華商煤業交易所と上海煤業交易所と同様のものを二箇登記されたため上海總商會は合併して一とするを可なりと認め

支那時事日誌

十月七日 (一) 小幡公使は支那の回答を正式に受領す

十月八日 (二) 日本は支那が今後如何なる態度を取るも打合はざる方針なり

十月九日 (三) 山東問題にハインゲン仲裁裁出づ

十月十日 (四) 日本武官軍法處は國民第一軍首領張榮光等七名を銃殺せり

十月十日 (五) 張作霖の張勳起用要求説又出づ

十月十日 (六) 本日國慶日に當り上海報界大に祝賀し紙面に

支那共史 全一冊定價五元 第一版 九月廿五日發行 第二版 十一月一日發行

中華皮革廠 營業各種製革 各種皮貨 各種皮包

三井洋行 代理店 上海代理店 東京サールジ株式會社

山口商店 上海文路第一號 (電話北五五四)

法會審衙門に送附し法工部局に送し執照を給せられて始めて營業を許す

一、章程は佛支兩國人を用ひ發起人の出資額は總額の四分の一以上たるべし

二、株は記名式を用ひ營業開始後三ヶ月以内に賣買するを得ず發起人の株券は一年以内に轉賣するを得ず若し以上の各條に違反せば發起人は刑事上の制裁を受くべし

三、交易所人員は本所に於て賣買をなすべからず若し違反せば停業を清算の處分は各關係人及び株主に對し完全の責任を負ふべし各交易所は右の取締規則に接して反對の意あり何等の對策を講せんとしつゝある模様なるが投機界の消息靈通者は大に戒心昨日佛租界各交易所株は一樣に四五元方づつ下落したり

●王伯羣を暗殺せんとす

本年三月上海一品香門前に何者に殺せられたる前貴州軍總司令文華の兄王伯羣は近頃貴州省長となれるが伯羣は杭州に赴き六日上海北停車場歸着する筈にて伯羣方より迎へに出された蔡必章は伯羣を刺殺せんと計り、事前に警官に認められ護軍使署に引致の上取調べられたるが、蔡は伯羣を殺すは自分と同様伯羣方に居る辛治國より頼まれたものなりと遂に白状したり、袁祖銘は王に引き立てられた師團長となりたるも其の後四川に於て王に謀叛せんとしたること發覺し免職された人物なり王文華の暗殺も全く同人の主指なること明かり

●生絲検査所開所期

上海香港路十號に新設したる上海生絲検査所各種機織々到着し居るを以て本月十五日頃には開所するに至るべし

●中國公學の風潮

中國公學本學期に於て中學部主任を添設したるが學生等は同部主任を反對し昨日全體ストライキを行ひたり同校代理校長張東蓀は此の事を聞き學校に掛き校長を呼び寄せて訓戒したるに學生側は大會を開きて解決すべしと要求し張は之を許さざるより某學生は張に向かひ先生は新文化唱の時事新聞の主筆なれば事は公開すべく專制なるべからずと云へるに張は今日自分は專制を承認す云へるより學生等は怒りを張に移すに至れり此の風潮は擴大すべく模範あり向は其後の報道によれば中國公學中學生等は中學部主任舒新城の行為に反對し同人の排斥を企て代理校長張東蓀(時事新報記者)に此の事を訴へ張は十二日同校に至りたるが學生等は此の問題に講堂に於て會議を開かんとし張にも列席を求めたるに張は之を拒み學生等の諸問に對し「余は專制を以て學生を待つ」と

命令

在任第七師長 吳新田
 陸軍軍少將 趙國棟
 任職口商埠局總辦 趙國棟
 任吉林鎮守使 赤隊正助
 給一等大校陸軍 蕭耀南
 加陸軍上將衛 馮玉祥

●冬期防備の會議

冬期強盜無類漢の横行甚だしき時期なるを以て上海防衛司令部は昨日駐滬各軍警長官を召集して會議を開き左の件々を議したり

一、警察方面 宜しく地方人民商業に秩序安靜維持に注重し街路衛生に注意すべし

一、軍界方面 軍士は地方人民に對して諷力保衛し冬期は格外に防範を以て天敵を盡くすべし

一、憲兵方面 軍警に對して聯絡態度を取り相互に地方の安寧を補助し事に遇はし共同商辨して隔膜あらしめず以て居留の生命財產を保護すべし

●吳淞商埠局の會議

吳淞商埠局は十三日午後二時より職員會議を開きたるが提議案は十五許りにて其中最も重要なものは馬路建築に就き民地及び外人所有地の買收方法並びに民地又は外人所有地の建築取壊しに關するもの等なり

一、蘇漢漢大橋は既に請負人の手に移り工事を始めることとなり舊集漢浜泰興安橋馬路は目下入札者曹繼文なり此の外陳家木橋馬路及び江灣寶山の各馬路は漸次工事をなすの準備をなし居たり

●蘭市場的の近況

蘭市場は八日以來非常に疲累し今週中況價淡にて秋蘭は二百十担の取引あり價額は一担九十五兩なり夏蘭の取引は甚だ多く價額は百兩なり春蘭の取引は八担の八十担にて價額は百五十二兩なり此等は均しく上海の製糸廠にて買入れたる目下上海には春蘭約一千担夏蘭數百担秋蘭の收成は尙ほ並に無錫、常州、蘭蘇の收成は尙ほ並に無錫、常州、五百担に上るべし

●漢治萍公司董事會

漢治萍公司是十三日午後三時より通常董事會を開きたるが盛澤華沈聯芳傅筱庵等董事十餘人の出席あり總董事盛澤承が主席となり公司の事業につて種々討議したり

●民黨連の廣東行

廣東の孫逸仙が北伐をなすべしとの説あり在り上海各省黨人は南寧に來陽田鐘毅等は十三日中國號にて香港に向かふなり其の他の各省人等も續々廣東に向ふ有様なり

●在滬湘鄂人的消息

湖南、湖北人等の消息は尙ほ將作閉し湖北事件失敗後上海に來りて以來閉鎖し再び政界の渦中に投入するべく目下偵考中なり又唐麟は二ヶ月前廣東より來滬以來福州路の某大旅館に滞在し居れるが周震麟と共に廣東に歸るべしとの説あるも確實ならず又交換所は目下積極進行中なり

餘る北方冷淡、南方熱鬧なり

▽徐世昌は禍首特殺に反對せり

▽曹錕は太平洋會議經費一二萬元を寄附せり農商部は之を備りて各地商會に勸誘せり

▽内閣問題は依然たり

▽吳佩孚は武漢を離るべからざる旨電告せり

▽四川劉存厚と吳通聯絡あり

十月十一日 (水)

▽徐世昌は八日吳英孫を派して新の就職を促かせり

▽布哇に國際新聞大會本日開催

▽顏景崇の渡米は今に未定なり徐世昌も斯と同様顔の渡米を望まず

▽孫文は十五日北伐軍を率ゐて出發すべく、陳炯明の下に行き下相談せり

▽張作霖は入關せずと云ふ

十月十二日 (水)

▽山東問題に對し日本は支那に向つて再考を求むべし

▽支那の郵政條例本日公布せり

▽漢口に巡閱使署設立せり

▽外人顧問は支那政府に對し人口過剩問題及國際平等稅を專府會議に提出すべしと建議し

▽支那政府と交渉を進めつゝあり

▽新は愈々就任を承諾し、財政長は高凌霨と定めたりと

▽全國商教聯席會議第一日本日開催

▽漢口商會は國會議員選舉成電を發せり

▽天津會議は對支問題が主要點なりと

十月十三日 (水)

▽王占元は天津に歸る

▽粵漢鐵路工同罷業

▽外交團は賑災捐稅の收支報告を求めたり

▽顏景崇の後去問題は依然未定

▽張勳を江西督軍とする説又出づ

▽四川軍は巴東に在りて依然跳梁す

▽廣東政府はロククフェアより三百萬借款せり北伐巡備亦成れり

▽外人顧問現在官更を痛撃して反省を求む

▽新議員召集すとの報至る

東亞興業株式會社

上海出張所

上海九江路第五號
電話中一九九五番

本社 東京市麴町區八重洲一丁目
一番地

出張所 北京、漢口、上海

伊藤商行

上海博物院路十八號
電話 四三〇九三

支店及出張所
漢口、廣東、香港、臺北、京城、大阪、東京

營業種目
葉煙草、洋紙、雜貨、其他一般
輸出入業埃及メロコニア煙草
會社代理店

東亞興業株式會社

上海出張所

上海九江路第五號
電話中一九九五番

本社 東京市麴町區八重洲一丁目
一番地

出張所 北京、漢口、上海

日本綿花株式會社

上海支店

大坂船場、名古屋、濱松、東京、橫濱、神戸、大連、營口、鐵嶺、長春、哈爾濱、上海、漢口、天津、青島、香港、孟買、甲谷陀、蘭買、カラチ、紐育、堡部、シヤトル、パニノスアイレス、ハープル漢堡、シドニースラバヤ

營業科目 棉花、綿絲、綿生品生糸
大坂北區中之島
貳丁目十番地

日華紡織株式會社

事務所—上海四路五五號
電話(中)二四九九
(中)二四九九
工場—東浦
電話(中)一八五七
(中)一八五七
勞務生路一七
電話(中)一七九六



申亨洋行
上海江西路五號
電話三〇〇九

海運業
船代理
買賣仲立
一般輸出入

東華紡績株式會社

事務所 上海漢口路A九號
工場 上海華德路八號
電話 東三五四番

線通交捷最絡聯亞東

南滿洲鐵道株式會社

○大連長春間普通列車
大連發前 一〇、三〇(翌前六、二〇)長春着
長春發前 一〇、四〇(翌前六、四〇)大連着
○大連開原間普通列車
大連發前 八、二〇(翌一、二〇)開原着
開原發前 八、〇〇(翌一、〇〇)大連着
○大石橋長春間普通列車
大石橋發前 七、四五(翌一、九二五)長春着
長春發前 七、三〇(翌一、九〇〇)大石橋着
○奉天安東間普通列車
奉天發前 九、三〇(翌一、四四〇)安東着
安東發前 九、二〇(翌一、四三〇)奉天着
○大連長春間急行列車
大連發前 一〇、〇〇(翌一、〇〇)長春着
長春發前 五、〇〇(翌前八、〇〇)大連着
○滿鮮直通列車(釜山奉天間)
釜山發前 二、〇〇(翌前八、二〇)奉天着(翌前七、一〇)
奉天發前 八、三〇(翌前四、四〇)釜山着(翌前六、四〇)
○鐵道旅館
滿洲線 大和ホテル
大連、星ヶ浦、旅順、奉天、長春
朝鮮線 京城、新義洲、釜山
(設備歐米式食物精選)
御用船 樽丸
往復其青島ニ寄港ス
電話 三、八七六(船内無線電信設備アリ)
二、〇〇〇

○營業種目
鐵道業、船舶業、港灣業、鑛山業、工業、製鐵業、電氣業、瓦斯業、旅館業

本社大連市東公園町
支社東京市麴町區有樂町
支店及出張所、紐育、上海、北京、哈爾濱、吉林
電話 振替貯金大連(二一九番)
電報 略 發(マシヤン)



清化と
活動に仁丹
食後に仁丹
煙草に仁丹
最も大なる活動の
後に最も大なる快
樂あり



ブリヤント電球
電燈工事設計監督積資
電氣設備器具材料取扱
博利安電料公司
電話 中央路一〇七
七

辛酉公司
中和工廠事務所
電話 中二三二
工場 上海英大馬路三三三號
電話 四一八二七

●和洋家具類
●室內裝飾品類
●書畫骨董類
●諸物貨賣買仲次
●電機器具及工事
右十數年の經驗自信に依り大方の貴需に應ず
上海閘行路廿一及廿二號
上海便利社

北福洋行
上海廣東路三十六號
電話 二九八三話電

營業科目
化學用玻璃器、醫
藥用瓶其他、玻璃
料器一切製造販賣
其他一般輸出入業

山口商店
電話 北四五一

本紙定價(前金)
一冊 金十五錢
一月四冊 金六十錢
半年廿六冊 金三百三十錢
一年五十二冊 金六百六十錢
(共稅別)

廣告料
本紙發售廣告の料金は行取の多少掲載期間の長短に依り特に御相談可致候間御用の方は確實又は(電話北二八五七)にて御一報被下度候

發行所 春申社
上海海寧路四號
電話 北一三〇三

國產獎勵
●島 貳拾三仙
●朝 拾五仙
●白 拾四仙
●サシキ 八拾四仙
●アマメ 六拾五仙
●ライトハウス 五拾六仙
●二百本 銀貨拾三仙
●五十本 銀貨拾三仙

東亞煙公司
電話 北一〇五二番

松尾洋行
電話 北三〇五三番

山口商店
電話 北四五一九番